第12期決算説明会資料

平成２１年８月２０日

株式会社エムビーエス（福証Ｑ－Ｂｏａｒｄ・１４０１）

〒755-0067 山口県宇部市小串74番地の3

電話:0836-37-6585（代表） / FAX:0836-37-6586

E-mail：info@homemakeup.co.jp

http://www.homemakeup.co.jp

本資料は、当社の事業内容及び事業戦略に関する情報の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的としたものではございません。また本資料に記載した意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性及び完全性を保証し又約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

説明内容について

1．第12期（21/5期）　決算概要について

　1-（1）　損益計算書の概要

　1-（2）　売上高セグメント別増減要因分析

　1-（3）　経常利益増加の要因分析

　1-（4）　貸借対照表の概要

2．第13期（22/5期）の重点施策について

3．第13期（22/5期）の業績予想について

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

5．スケルトン防災コーティング施工 施工実績

6．緑化事業施工実績

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

1．第12期（21/5期）決算概要について

（1）損益計算書の概要

	20年5月期		21年5月期		
	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	前年同期比（%）
売上高	1，101	100	926	100	△15．8
営業利益	△9	△0．9	111	12．0	—
経常利益	△43	△3．9	50	5．4	—
税引前当期純利益	△57	△5．2	42	4．5	—
法人税等調整額	3	0．3	9	1．0	200．0
当期純利益	△60	△5．5	33	3．6	—

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

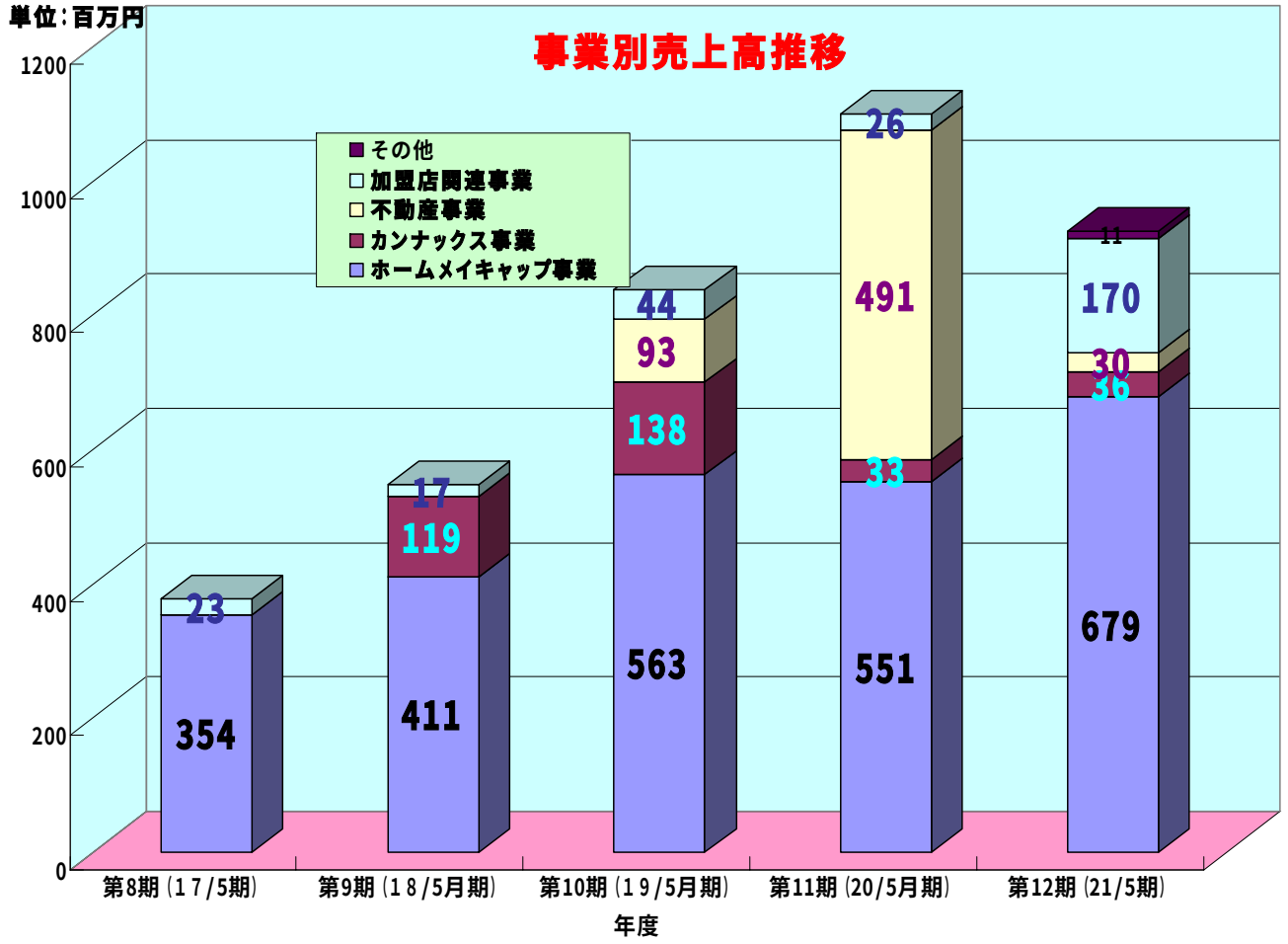
1．第12期（21/5期）決算概要について

（2） 売上高セグメント別増減要因分析

① 加盟店関連売上高の増加（ホームメイキャップエリアパートナー加盟、研修費、材料販売等）

② ホームメイキャップ事業は順調に推移（551百万円→679百万円）

③ 不動産売上高の減少（セキュメゾン案件を第12期は未開発）



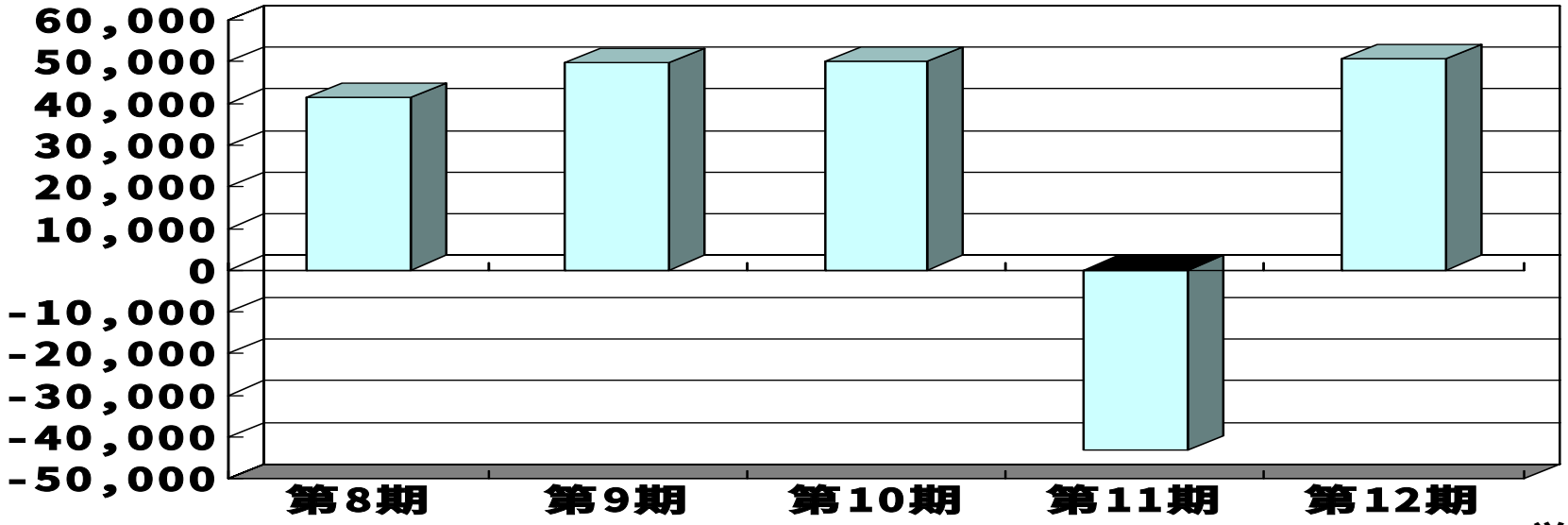
お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

（3）経常利益増加の要因分析

① ホームメイキャップ工法のＦＣ加盟による収益の計上（160,000千円）

② 工事原価率の改善

単位：千円



単位：千円

	第8期 （平成17年5月期）	第9期 （平成18年5月期）	第１０期 （平成19年5月期）	第１１期 （平成20年5月期）	第１２期 （平成21年5月期）
経常利益	41,330	49,802	50,085	△43,089	50,772

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

1．第12期（21/5期）決算概要について

（4）貸借対照表の概要

		20年5月期（百万円）	21年5月期（百万円）	増減（百万円）
資産合計	流動資産	614	387	△227（現金及び預金△247、受取手形+38、 他）
	固定資産	412	592	+180（出資金△200、投資用不動産建物+320、他）
		1,026	980	△46
負債合計	流動負債	363	309	△54（デリバティブ債務+54、工事未払金△30、一年内返済予定長期借入金△47、他）
	固定負債	329	303	△26（長期借入△24、他）
		692	612	△80
純資産合計		333	367	+34（当期純利益+33、他）
負債・純資産合計		1,026	980	△46

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

2．第13期（22/5期）重点施策について

① 営業構造の強化

・既存店エリアにおける新規パートナーの開拓及び既存パートナーにおけるシェアアップ
・全国の主要都市圏における新たなる支店設置
・ホームメイキャップ工法の代理店展開
・構造物リフォーム市場への参入
・新たなるコンセプトでの住宅構築
・環境緑化分野への進出

② 技術力の強化

・耐震技術の改良、コストダウン化
・薄膜スケルトンはく落防災コーティング技術の強化
・コンクリート床版の補修、補強技術の開発
・実行予算管理システムの改善

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

3．第13期（22/5期）業績予想について

	19／5期（実績）		20／5期（実績）		21／5期（実績）		22／5期（計画）			
	金額（百万円）	前年同期比（%）	金額（百万円）	前年同期比（%）	金額（百万円）	前年同期比（%）	中間期金額（百万円）	前年同期比（%）	通期金額（百万円）	前年同期比（%）
売上高	838	53.3	1,101	31.3	926	△15.8	461	14.2	935	0.9
経常利益	50	0.6	△43	—	50	—	10	—	31	△38.0
当期純利益	28	3.3	△60	—	33	—	4	—	15	△5.9

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

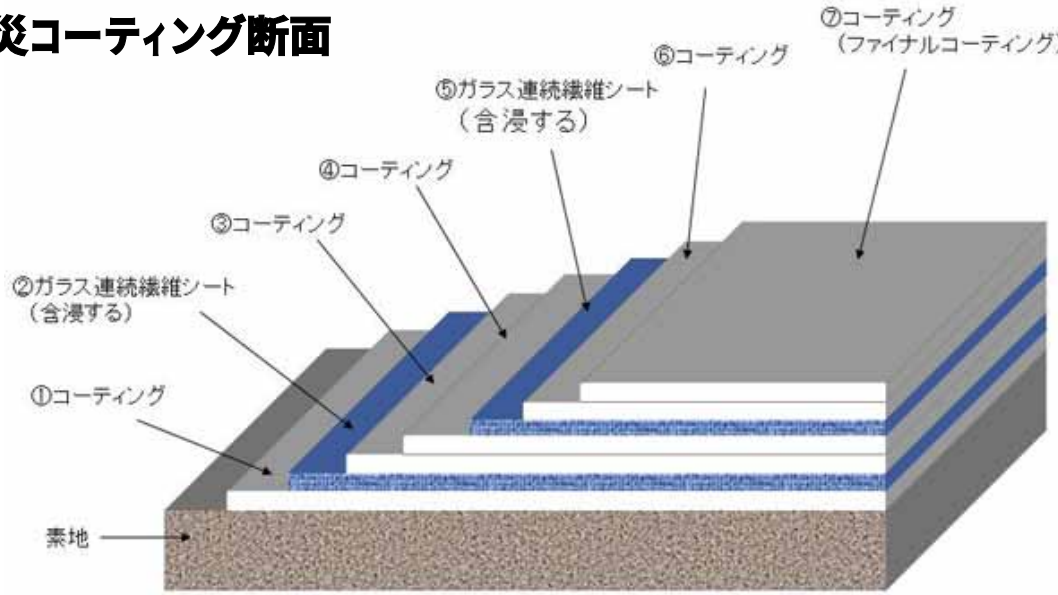
4．スケルトン防災コーティング施工の開発

(1) スケルトン耐震防災コーティング 性能比較表-(表A)

	基準値	スケルトン耐震防災コーティング(2層)	シート無し	アラミド繊維シートによる既存コンクリート構造物の補強工法(二方向シート10t/10t シート1層)
押抜き	1.5kN以上	11.3kN	-----	8.33kN
付着試験	1.0N/mm2	1.89N/mm2	-----	1.65N/mm2
接着試験	------ (接着強度N/mm2)	2.53N/mm2	-----	4.79N/mm2
曲げ･せん断耐力試験(スパン比3.28)	------ (最大荷重kN)	167.0kN	108.3kN	170.1kN

(2) スケルトン耐震防災コーティング断面

(NETIS登録)



お問い合わせ先：株式会社エムビーエス (電話：0836-37-6585 (代表) /FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp)

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

実証試験の内容　(柱の耐力試験)

左：スケルトン耐震防災コーティング

右：シート無し

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス (電話：0836-37-6585 (代表) /FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp)

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

開　発　背　景

建設工事を取り巻く環境

官民における財政悪化 → 建設投資の急激な減少
（平成４年に８４兆円 → 平成１９年に５２．９兆円）約３７％減

しかし必要な社会資本整備は、行わなければならない
→経済性を重視し良質かつ効率的に整備しなければならない

環境配慮

高度成長期
→大量建設されたコンクリート構造物
→老朽化が加速度的に増加する事が予想

「壊して造る」が減少する　【スクラップーアンドービルドの縮小】

ストック
社会資本を維持して管理して「生かして長く使う」　【アセットーマネジメントの導入】
（約2030年に新規発注額を、補修額が上まわる試算予想）

維持管理技術･保全技術の重要性が増す

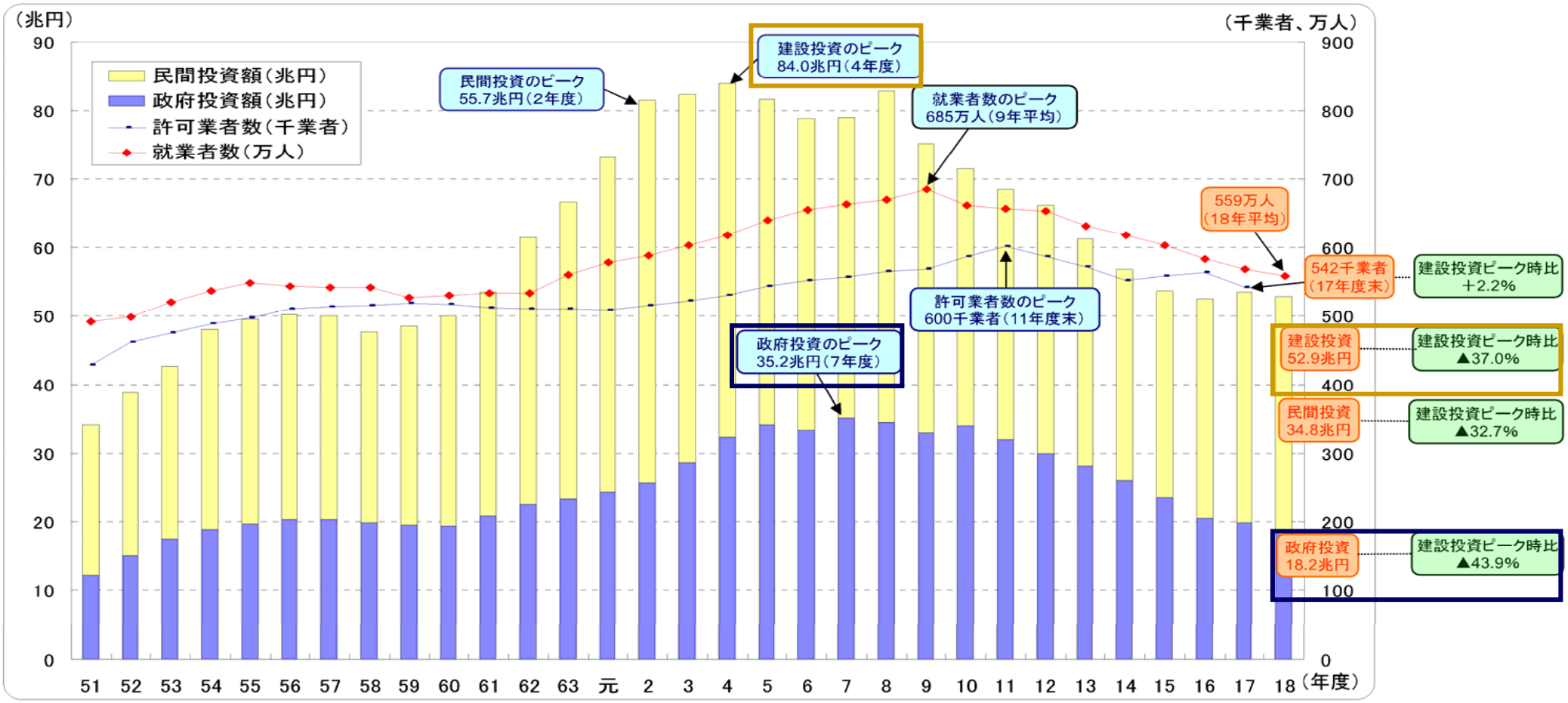
お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

国内の建設投資額の推移 （平成19年3月－国土交通省資料より）

【官民合算投資】平成4年度がピーク84．0兆円 → 平成18年度52．9兆円 → よって▲37．0%
【政 府 投 資】平成7年度がピーク35．2兆円 → 平成18年度18．2兆円 → よって▲43．9%

→ **財　政　難**



お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

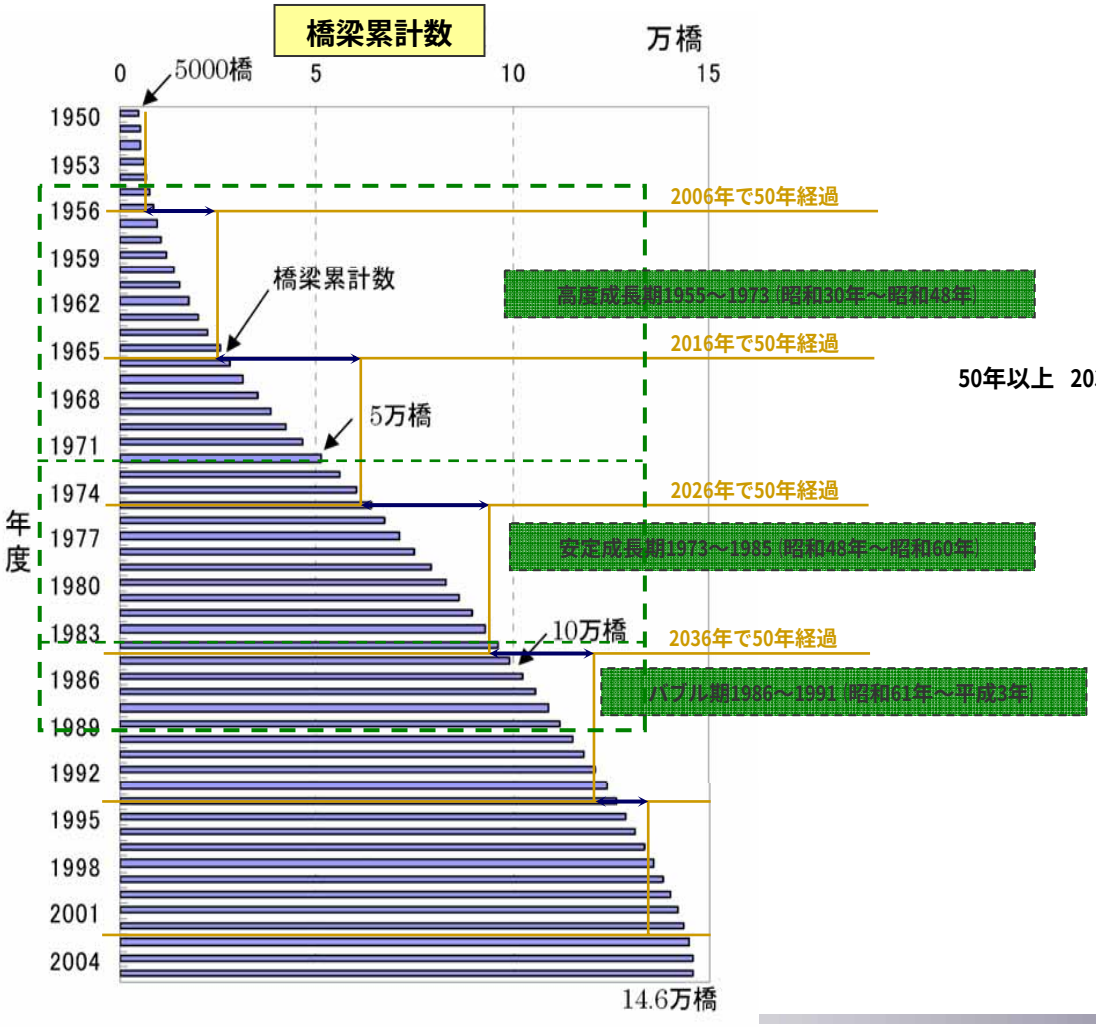
国内における道路橋のストック状況 （平成１９年１０月－国土交通省資料より）

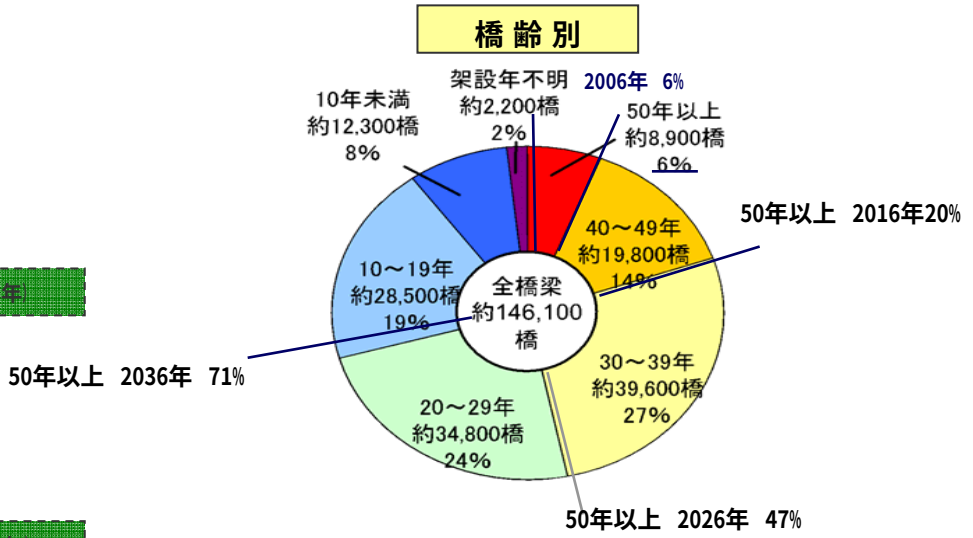
国内の１５m以上の橋梁数は約１４．６万橋

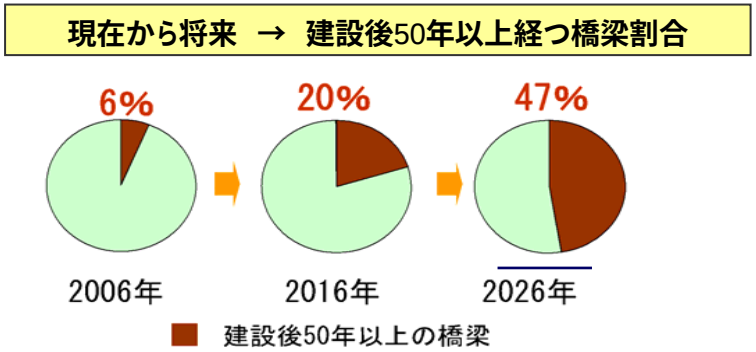
・高速道路・直轄国道１．８万橋　・県管理４．４万橋　・市町村管理８．４万橋

建設後５０年以上の橋梁→６%、１０年後には２０%、２０年後には４７%

老朽化が加速度的に増加する事が予想される







お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

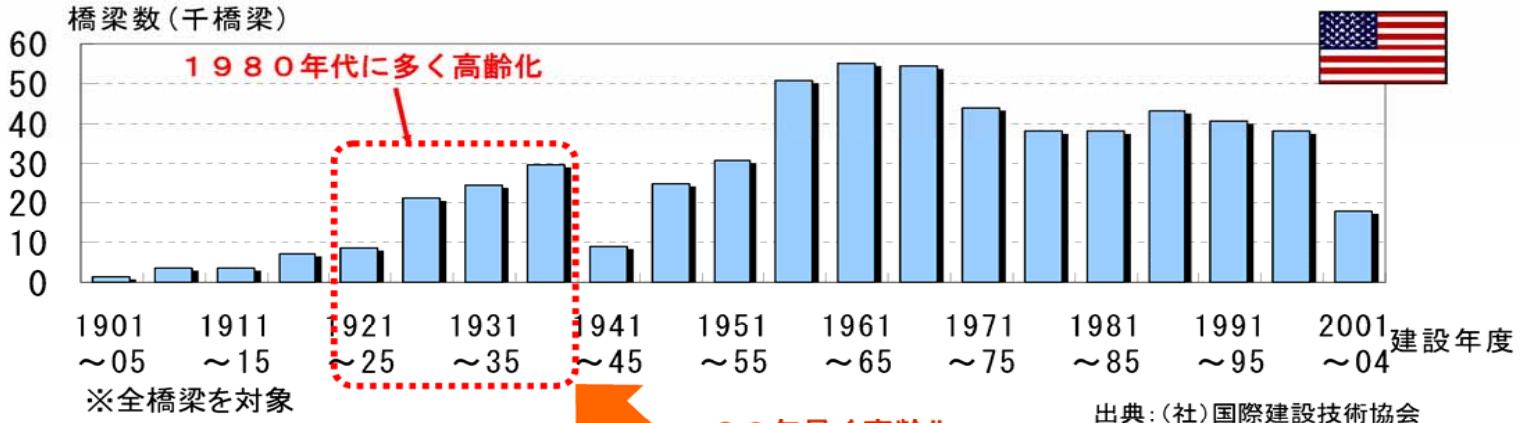
4. スケルトン防災コーティング施工の開発

道路橋　建設年における米国と日本の比較　(平成19年10月－国土交通省資料より)

1970年頃の米国 ： 2006年頃の日本 → 状況が類似
米国の70年～80年代 →「荒廃するアメリカ」と言われ、落橋・橋の通行止めが頻発 → 予防的安全対策に投資
→ 維持補修に力を入れ欠陥橋梁は減少するが → 2006年時点でも未だ25%の欠陥橋梁が存在
世界の先進国である米国は、日本より30年早い1980年代に多くの道路施設が高齢化した

→ **このままでは日本も米国と同じ状況になりかねない**

【米国の橋梁の建設年】

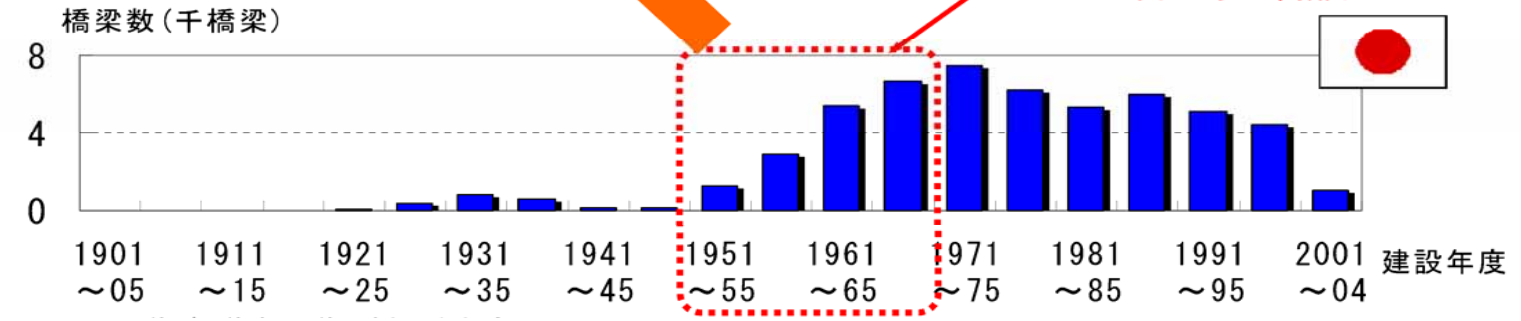


※全橋梁を対象

出典：(社)国際建設技術協会

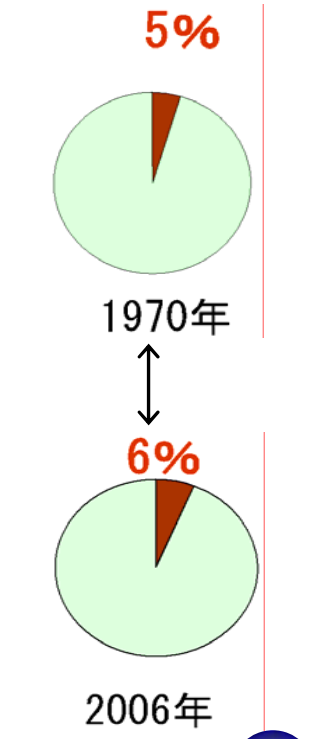
３０年早く高齢化

【日本の橋梁の建設年】



※国道、都道府県道の橋梁を対象

建設後50年以上の橋梁の割合 (15m以上)

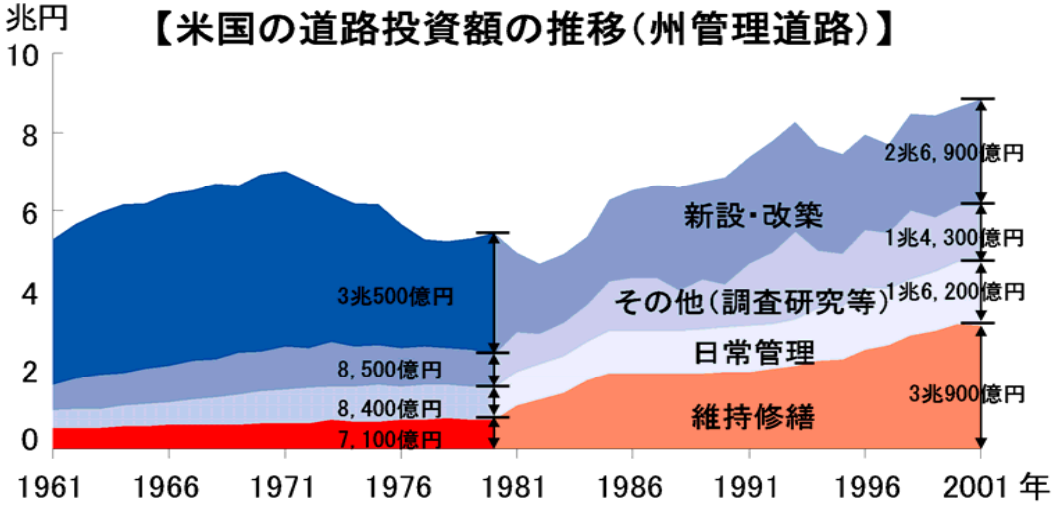


お問い合わせ先：株式会社エムビーエス (電話：0836-37-6585 (代表) /FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp)

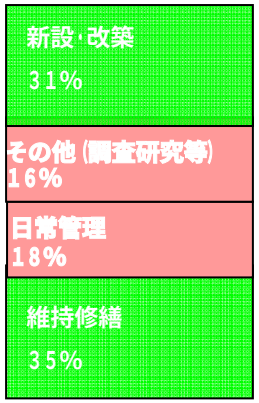
4．スケルトン防災コーティング施工の開発

道路橋　米国の道路投資額と日本の橋梁補修費　（平成19年10月－国土交通省資料より）

米国



出典：US DOT　（米国交通省）Highway Statistics

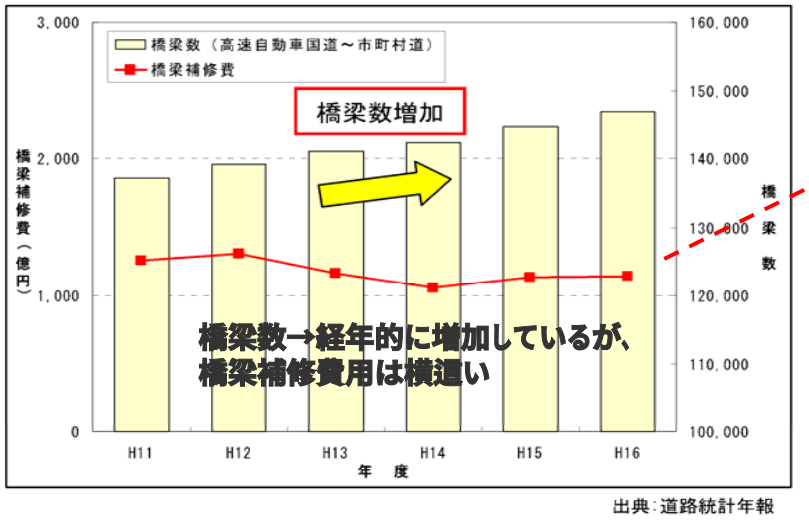


工事費→66%

日常の管理・調査→34%

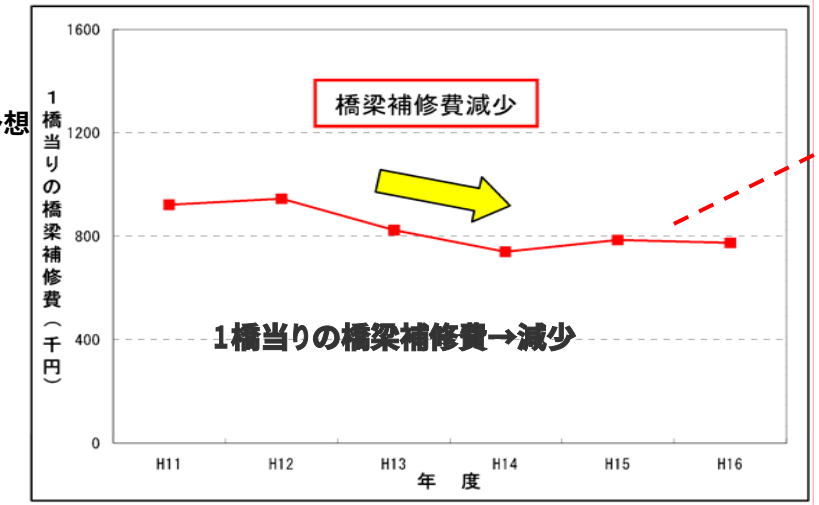
維持修繕費用の増加
7,100億円→3兆900億円
20年間で335%UP

日本



出典：道路統計年報

橋梁補修費と橋梁数の推移



出典：道路統計年報

1橋当りの橋梁補修費の推移

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

道路橋　点検における欧米との国際比較　（平成19年10月－国土交通省資料より）

項目	米国	英国		フランス			日本（直轄）
法的根拠の有無	有	無		無			無
位置付け	全国橋梁点検基準（NBIS）	道路構造物の点検		道路構造物の点検と保全に関する技術指示書			橋梁定期点検要領（案）
点検対象橋梁	橋長20ft（6．1m）以上の橋	道路庁管理の幹線道路の橋長3m以上の橋および0．9m以上の純径間・内径を持つ同様構造物		橋長2m以上の国道網の橋			橋長2m以上の直轄国道の橋
対象橋梁数	５９．７万橋	０．９万橋　※1		２．５万橋　※２			２．０万橋
定期点検名	定期点検	一般点検	主要点検	年次点検	IQOA橋梁状態評価点検	定期詳細点検	定期点検
点検の頻度	１回／２年以内　※３	１回／２年　※３	１回／６年　※３	1回/1年	1回/3年	1回/6年　※３	１回／５年以内（供用後２年以内に初回）
点検の方法	近接目視	遠望目視	近接目視	遠望目視	近接目視	近接目視	近接目視
点検の実施者	州や地方政府の橋梁点検チームおよびｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ	ＭＡＣ（管理ｴｰｼﾞｪﾝﾄ）		工事事務所	工事事務所および地方設備局構造物管理室	地方設備局構造物管理室が計画し地方土木研究所が実施	点検（損傷程度の評価）をｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ、検査（対策区分判定）を（財）海洋架橋・橋梁調査会が実施。
評価	床版、上部構造、下部構造、水路部、カルバートについて損傷状態等を判定(10段階)し、橋全体のSR（Sufficiency Rating）を算定。	各構造部位・部材について、損傷の範囲（4段階）、損傷の重大度（4段階）、対策区分（7区分）、対策の優先度（3段階）を判定。		各構造部位・部材の損傷状況に応じて、橋の状態（橋の損傷程度と対策の緊急性）を判定（5区分）。			各構造部位・部材について、損傷の種類ごとに損傷の程度（5段階）と対策区分（7区分）を判定。

対象橋梁数出典：米国　NBI2006
：英国　道路庁講演資料(7thUK-Japan Workshop2005)
※1　3m未満の構造物は含まれていない（2007年に3m以上から0.9m以上に改訂）
：フランス　IQOA2005　（SETRA報告書）
※2　現在、国が直接管理する対象橋梁数は1．2～1．5万橋(LCPC（中央土木研究所）の情報)
：日本　道路統計年報2006
※3　条件により、点検間隔を短く、または長くする場合がある。

点検の頻度→頻繁に行われる。　　点検の方法→近接目視で行われる。

↓

点検調査ｼｽﾃﾑを強化し確立する。同時にコスト削減の為、簡素化を行う必要がある。

↓

点検・調査・補修を効率よく簡易に行う為、それに伴う技術が求められる。

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

表面保護工法について

表面保護工法　　コンクリート構造物の表面または表面付近に施された保護的措置

表　面　保　護　工　法

塗装工法
（現場で厚膜コーティング材を重ね塗りする）

張付け接着形シート工法
（工場でコーティング材＋繊維を加工→現場にて接着材で貼り付ける）

塗布接着形シート工法
（現場でコーティング材＋繊維を貼り付ける）
「スケルトンはく落防災コーティング」

鋼板巻き立て工法

その他
・表面含浸
・断面修復

一　般　的　に　「耐久性の向上　・　劣化の抑制　・　性能回復」

一　般　的　に　「は　く　落　防　止」

一　般　的　に　「耐震・補強」

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

従来工法の問題点

コンクリートの表面が見えない
（トップに色付コーティング材を使用している為）

→表面保護の施工後、コンクリートがどうなっているか不明。

→コンクリート構造物が異常を来していても、それに気づかず、いざと言う時その役目を果たすか不安。

→異変に気づいたとしても、範囲が判らない為、表面保護を広範囲に剥がし調査する必要がある。

→調査･撤去･復旧に手間および時間が掛かり、工事費の負担が大きくなる。

材料数が多く施工が難しい

→プライマー･コーティング材に2液性が多く、現場での混合が必要のため作業性が悪い。

→プライマー･パテ･数種類のコーティング材･シートと材料が多い為、作業が煩雑で効率が悪い。

→違う材料での工程が多い為、技術が複雑で難しい。

→工期が長く掛かる。

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

従来工法の問題点

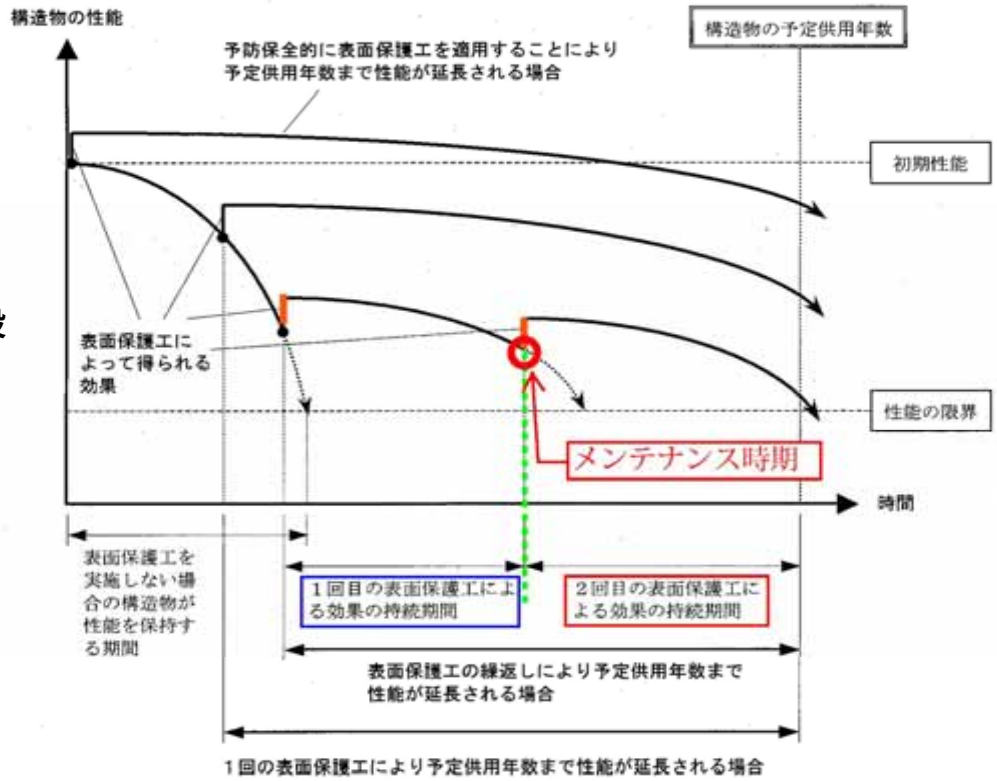
メンテナンスの時期および方法が確立されてない

→表面保護の施工後、製品自体の劣化状況が不明。

→製品が劣化していても、それに気づかず、いざと言う時その役目を果たすか疑問。

→劣化に気づいたとしても、範囲が判らない。

→調査･撤去･復旧に手間および時間が掛かり、工事費の負担が大きくなる。



表面保護工を適用したコンクリート構造物の性能の概念図

繊維が硬いまたは厚い

→コーナー部分･ハンチなどの、細かい部分の施工が不得意。

→パテの使用頻度が多くなり、作業効率が低下する。

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

既存スケルトンはく落防災コーティングの概要

コンクリート構造物 ⟶ 透明特殊コーティング材＋ガラス連続繊維シート

スケルトンはく落防災コーティング

はく落防止･補強

the skeleton coating

コンクリート表面が透けて見えます。

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

サンプル写真

既存スケルトンはく落防災コーティング

【説明】
モルタル板にハート形のシールを貼り、その上にスケルトンを施しています。
ハート形の大きさは、幅3．3cm、たて3．7cmです。

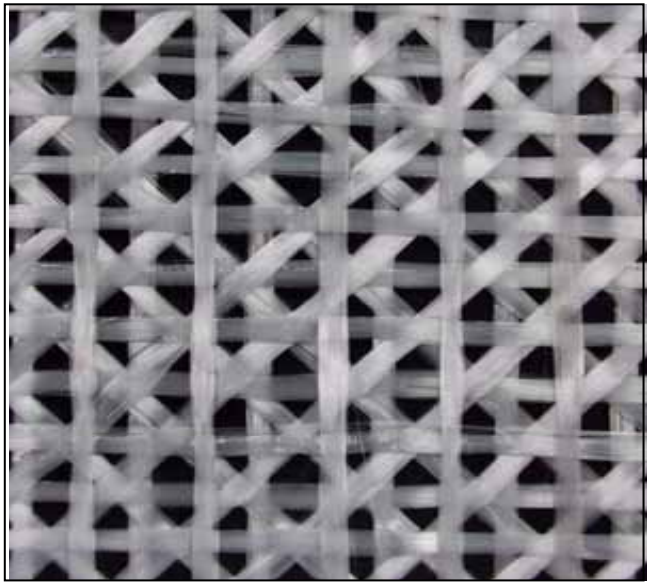
お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

材　料

透明特殊コーティング

＋

ガラス連続繊維シート



2種類のみ

プライマーは必要ありません

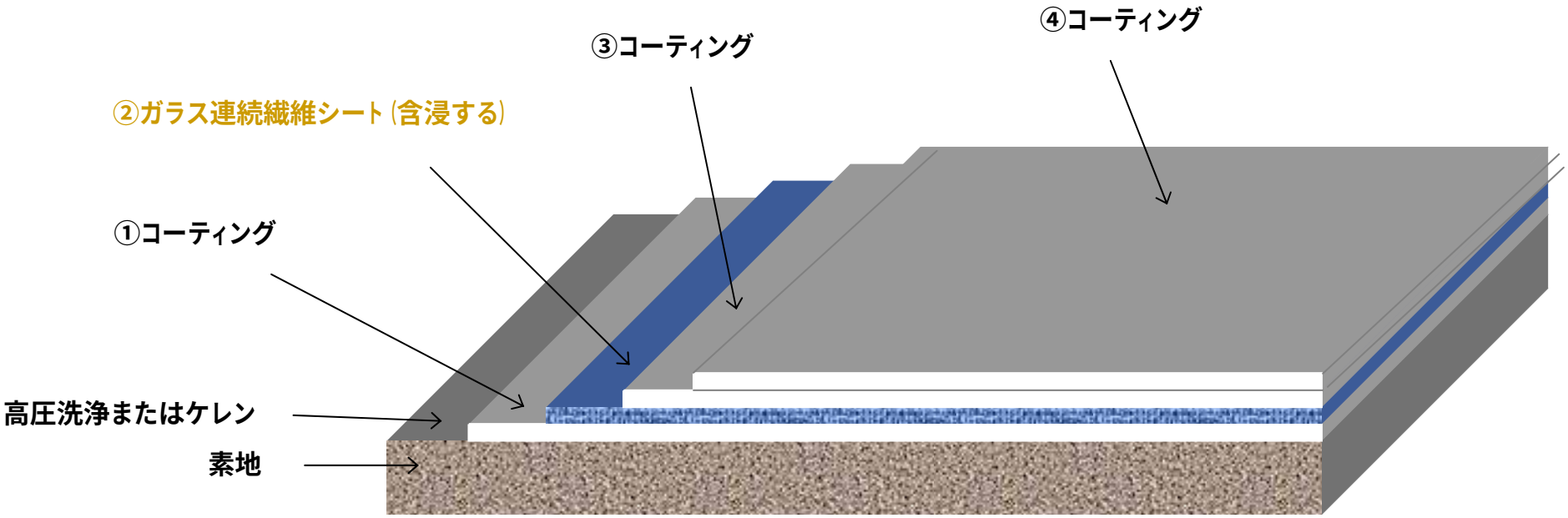
お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

構　造

既存スケルトンはく落防災コーティング　断面図

コーティング材塗布量→1．5ﾘｯﾄﾙ/㎡



お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

施　工　事　例

既存スケルトンはく落防災コーティング　施工事例　　**跨線橋の高欄および高欄部スラブ**

工事場所全景

跨線橋上り線（国道）

跨線橋下り線（国道）

透明性

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

4．スケルトン防災コーティング施工の開発

施　工　事　例

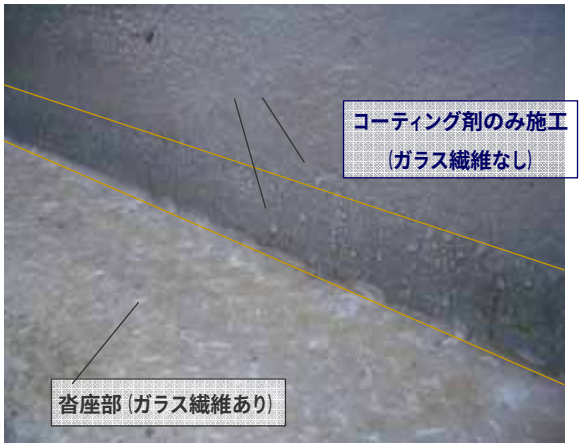
既存スケルトンはく落防災コーティング　施工事例　**沓座**

工事場所全景

部分

透明性

プレート部分の施工



お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

5．スケルトン防災コーティング施工 施工実績

1． 橋桁補修工事 （国土交通省）

施工写真（全体）

施工後（壁）

施工後（床）

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

5．スケルトン防災コーティング施工 施工実績

2． 橋梁補修工事 （国土交通省）

施工写真（全体）

施工後

施工後

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

5．スケルトン防災コーティング施工 施工実績

3． 高速道路補修工事 （道路公団）

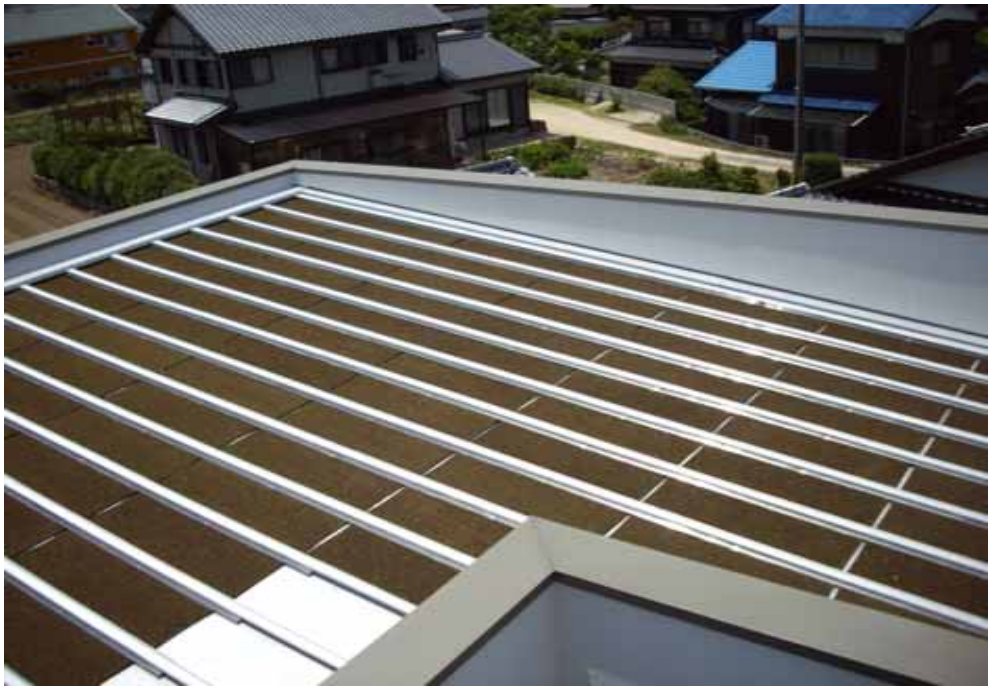
お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

壁面緑化（グリーンデニム）

（一般住宅）

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

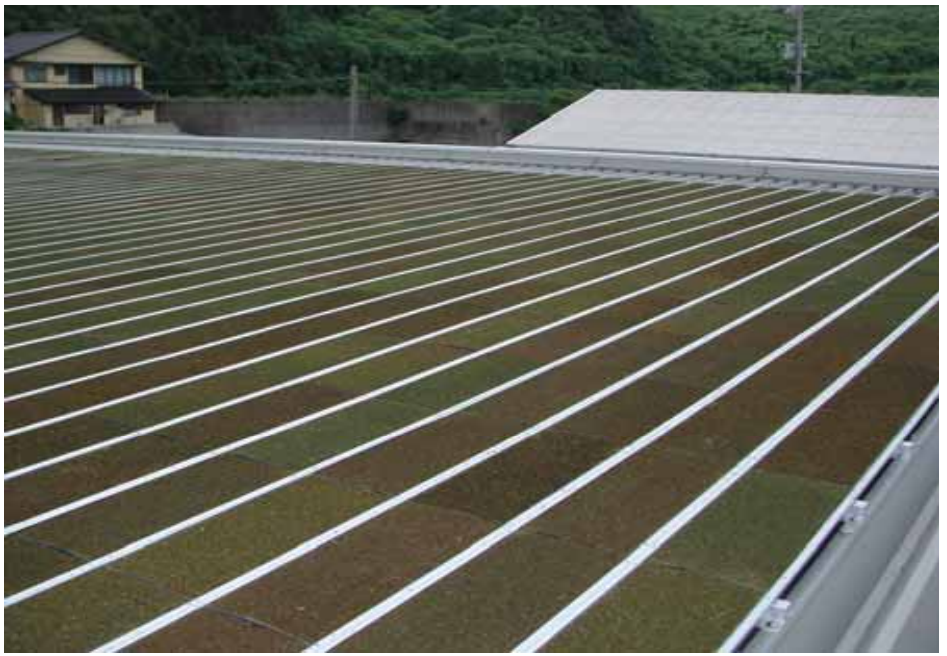
屋根緑化（グリーンデニム）

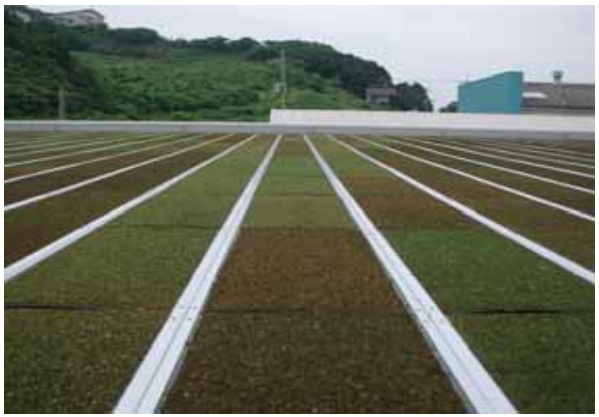


（一般住宅）

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）

屋根緑化（グリーンデニム）





（工場）

お問い合わせ先：株式会社エムビーエス（電話：0836-37-6585（代表）/FAX：0836-37-6586/e-mail：info@homemakeup.co.jp）